

腹腔鏡下尿管摘除術 入院診療計画書

疾患名

尿管遺残症

看護師
療法士

薬剤師
栄養士

ID:

氏名:

病棟 (病室)

	1月1日		1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	
	入院日(手術前日)	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日	術後2日	術後3日	術後4日	術後5日	術後6日	
目標	予定どおりに入院し、手術の準備を整えられる 手術の必要性が理解できる		手術後の安静を守ることができる		痛みや気分不良があれば医療者に伝えることができる			退院の準備ができる		
処方	現在内服中の薬については指示に従って下さい	指示のある時は、手術前に飲む薬があります	痛みが強い時は痛み止めを使用するため、お知らせください							
点滴		点滴を開始します	点滴終了後、針を抜きます							
検査			採血、レントゲン 検査があります			採血があります				
処置		弾性ストッキングをはきます IDバンドをつけます 除毛します 入歯・金属類を外します	術後、お腹と尿道に管が入ります 術後、酸素マスク、心電図モニターをつ	経過を見てお腹の管、尿の管を抜きます。尿の状態、量を見ます						
食事	必要に応じて栄養士の訪問があります	0時から食事摂取できません 6時から水分摂取できません	帰室後3時間後にお腹の状態を聞きます 飲水テストをします	食事を再開します						
安静		翌朝までベッド上安静になりま	トイレ歩行できます							退院後の生活についての指導があります
清潔	シャワー浴をします 髭剃り・爪切りをしてください 化粧・マニキュアは落として下さい		体を拭きます	お腹の管を抜いたらシャワー浴ができます						
説明指導	入院・手術・薬についての説明があります 貴重品は自身で保管してください 麻酔科医の診察があります 相談員の訪問があります	☆手術までにバスタオル、T字帯(または紙オムツ)を用意してください	医師から家族に説明があります 検査、安静度について説明があります	麻酔科医の診察があります						退院指導・服薬指導があります
症状						総合評価：別紙参照				
本人・家族の要望						特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし				
看護計画等										

本人氏名

説明日

西暦 年 月 日

主治医氏名

親族または代理人氏名

_____ 続柄: _____